

兵 医 広 報

2018
SPRING
vol. 242



特集 完成！ 教育研究棟

学生・教職員・卒業生の誇りとなる
兵庫医科大学の新たなシンボル



『安心・安全・快適をコンセプトとした次世代の教育研究施設』

特集 Feature Articles

完成！教育研究棟

一棟ですべてが揃う充実した教育研究施設へ

2017年11月15日、西宮キャンパスに教育研究棟が竣工しました。より良い学習環境、より高いレベルの研究環境を整備するため、複数の建物に分かれていた教育・研究機能を集約した施設で、それまでは異なる建物で授業を受けていた各学年が、一つの校舎に集うことになりました。計画開始から約5年の歳月を経て完成した新しい教育研究棟には、多くの思いやこだわりが込められています。

まずはエントランス。「学生の間はさまざまな仲間に会ってほしい」という思いのもと、お互いの姿が見えやすく交流しやすい、開放感のある造りにしています。災害時には近隣住民の避難所となる想定で、あえて2階に設けました。

講義室・実習室には最新の映像機器を完備。また、研究機能としては、基礎系講座の研究室を集約した先端医学研究所、共同利用研究施設などを設置して、必要な機器をWEBシステムで24時間365日予約可能に。技術者が常駐することで、研究者の相談や管理・メンテナンスにきめ細かく対応できる体制になっています。

学生食堂の新設など、アメニティ設備も充実。同じ階には学生がリ

ラックスできるラウンジを設け、書店、売店も併設することで、メリハリをつけて勉学に集中できる環境を整えました。

新棟とともに新たな教育環境の整備を

チームでの連携や患者さんとのコミュニケーションが不可欠な医師をめざすには、受け身の学習だけではなく、自ら考え発信する双方向教育が必要です。兵庫医科大学で以前から実践しているTBL(チームベースドラーニング)はこの考えに基づいており、教育研究棟ではグループディスカッションしやすいよう、フラットな床の講義室を増やしたほか、少人数グループでのアクティブラーニングに対応する「SGL(Small

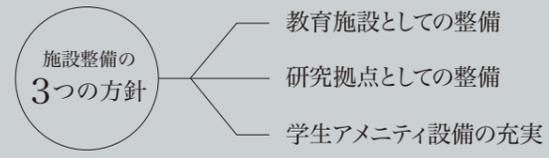
Group Learning)や「ラーニングスクエア」を設けました。ラーニングスクエアには、自由に動かして組み合わせられる机が設置されており、学生同士での能動的な学習を後押しし、多目的に活用することができます。自習スペースも拡張し、個々の目的に応じて使い分けられるようにしました。

今後は、このような新しい施設や設備を利用し、実習に対するパフォーマンス評価の実施や、動画配信システムによる講義録画の活用拡大を検討しています。また、顔認証システムを活用した出席管理など新システムの導入準備も進め、安心・安全はもちろん、快適な学習・研究環境を提供する次世代にふさわしい教育支援体制を発展させていきます。



教育研究棟の建設目的

医学部生や研究者に最良の環境を提供するため、学内に分散していた教育・研究機能を1ヵ所にまとめ、再整備。学生アメニティ設備も追加し、教育・研究・学生生活の充実を図る。

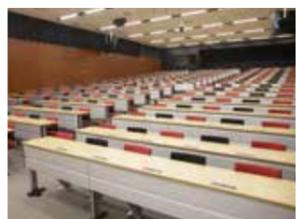


教育設備
education

学生の「学びたい」という意欲を刺激する創造的環境

講義室・実習室 1・4・5・6F

黒板に加え、大きなスクリーンやモニターといった映像機器を揃え、動画や顕微鏡の映像など授業に必要な情報をより見やすく表示可能に。



ラーニングスクエア 3F

机の組み合わせにより少人数～大人数のグループまで自由に作ることができるアクティブゾーンと、少人数学習ゾーン、個人学習ゾーンを用意。

SGL (Small Group Learning) 3F

一部屋に10席設けられた個室が21室あり、少人数のグループ学習を促進する。医学教育センターと双方向で音声の通信が可能。



研究設備
research

より高度な研究を可能にする各種施設を整備

先端医学研究所 8F

兵庫医科大学の研究レベルの向上をめざした機関で、細胞・遺伝子治療部門、神経再生研究部門、医薬開発研究部門を設置。



共同利用研究施設 7F

9号館の1～2階に分かれていた同施設を集約。生命科学に関する最新機器を幅広く揃えており、WEBシステムで24時間365日予約可能。

アーカイブズ室 3F

兵庫医科大学の歴史資料の保存と公開に加え、卒業生間や在学生との情報交換の場を提供するなど、過去と未来の架け橋となるゾーン。



教育研究棟
施設紹介

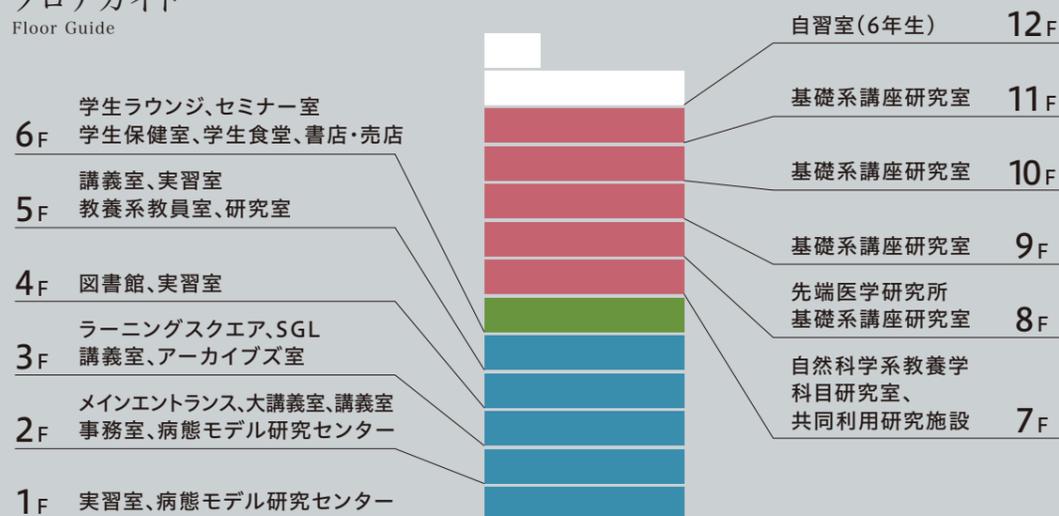
安心—「教育研究環境の充実」、安全—「大地震にも耐える強靱な施設計画」、快適—「省エネルギーで高水準な環境」の3本柱のもと設計された、12階建ての教育研究棟。上層階には研究フロアを集約し、学生の学習・生活空間を2～6階に配置。6年次生には最上階に専用の自習室を用意し、医師国家試験に向けての自主学習に専念できるようサポート。アメニティ設備を大幅に増やすとともに、学生の自主的な学びを促進するスペースを随所に設け、自ら考える医療人を育成する環境を整備。

建物の特徴・仕様

- 学年で分かれていた教育の場を集約
- 大人数を収容できる大講義室の設置や、中・小講義室数の増加により学習環境を整備
- 学生のアメニティ設備やリフレッシュ空間を設置し、利便性を向上
- SGLやラーニングスクエアなど、学生の主体的学びを支援する施設を設置
- 震度6強の地震、5mの津波に対応

フロアガイド

Floor Guide



学生アメニティ設備
amenity

快適さと利便性の高さで学生生活の質を向上

学生食堂 6F

健康をコンセプトにした食堂を新たに設置。飲食可の勉強エリアとしても開放される。眺めのいいスペースで、テラス席もあり。



学生ラウンジ 6F

学生がリラックスできる快適な空間として、食堂と同じ階に設置。気分転換に緑が植えられた中庭に出ることもできる。

書店・売店 6F

学生ラウンジの向かいにある書店と売店。書店には医学書を豊富に用意し、勉強用途以外にも多くの書籍との出会いを促す。



Message

念願の新学舎が誕生して

学校法人兵庫医科大学 理事長 新家 莊平

この度、6年前に開始した開学40周年記念事業の一環として、西宮キャンパスの西南の一角に「教育研究棟」を竣工致しました。

予てから老朽化した学舎を刷新する要望が強かっただけに、この白亜の高層舎は眩いばかりの光を放ち、学生や教職員達の士気を鼓舞することになるでしょう。

幾多の困難を克服しながらも計画どおりに事を運べたのは、教職員は言うまでもなく、同窓会や後援会、行政、関連企業、そして設計・施工を担当くださった方々の物心両面にわたる強力なご支援の賜物と、厚く感謝申し上げる次第です。医療や教育も全国的に深刻な課題に直面していますが、本学は新学舎の玄関ロビーに掲げた「建学の精神」を心に刻みながら、「良医の育成」「医学研究の充実」「高度医療の推進」という三位を一体化して、医科大学という公器の使命を果たしていきたいと考えています。



理事長が筆をとった「建学の精神」

最高の教育・研究環境を整備

兵庫医科大学 学長 野口 光一

完成いたしました教育研究棟は、臨床実習以外のすべての学生教育関連施設、研究関係の大半の施設や設備、そして基礎医学・教養系の教室が集まっています。特に教育に関わる部分は素晴らしい教育環境になるよう最大限に工夫しました。また、研究活動が一層発展するよう、共同利用研究施設や病態モデル研究センターにも最先端の設備を揃えています。本学の歴史資料の保存と公開だけでなく、在学生と卒業生間、卒業生同士の情報交換の場としてのアーカイブズ室も設置。過去と未来の架け橋となる重要な施設であり、同窓の先生方には集う場所として活用いただきたいです。兵庫医科大学開学40周年記念事業としての教育研究棟の完成には多くの企業、個人の方々からご協力を賜り、誠に有り難く深く御礼申し上げます。今後は本教育研究棟を有効に活用して、教育・研究の一層の充実・発展に繋げて参ります。



高層階から望む夕景

CONTENTS

- 01 特集
完成! 教育研究棟
- 06 NEWS & TOPICS
 - ・「認定がん相談支援センター」に認定
 - ・地域安全まちづくり活動の推進協定を締結
 - ・兵庫県養成医師生の絆を構築
 - ・学生たちが最先端の医学研究に陶酔
 - ・研究医コースの学生が研究成果を発表
 - ・「教育研究棟 竣工記念式典、内覧会」を挙げる
 - ・第41回目の「卒業式」を挙げる
 - ・「平成29年度 兵庫医療大学 学位授与式」を挙げる
 - ・「第10回 学校法人兵庫医科大学連携病院の会」を開催
 - ・高校生対象「1日体験入学」を実施
 - ・本法人初の「特定看護師」が誕生
 - ・「大学発ベンチャー」第1号を認定
 - ・「平成29年度退職記念講演会」を開催
 - ・第95回日本生理学会で学生がポスター発表
 - ・「総合診療専門医」の養成を開始
 - ・「兵庫医科大学 学部入学式および大学院入学式」を挙げる
 - ・「兵庫医療大学 入学式」を挙げる
 - ・2017年度の研究成果を報告
- 12 各種報告
 - <兵庫医科大学><兵庫医療大学>
2017年度 国家試験結果/2017年度 卒業生進路実績/
2018年度 入学試験結果
- 15 卒業生INTERVIEW
 - 遺伝子スイッチ法を用いた創薬研究で万能抗がん剤の開発をめざす
京都大学 大学院 医学研究科 人間科学系専攻 准教授
上久保 靖彦さん(1996年卒業)
- 17 HYO-i LAB -研究紹介-
 - 転写因子が切り開くメタボリックシンドローム治療薬開発
兵庫医科大学 生化学講座 講師 崎山 晴彦
- 19 STUDENT INFORMATION
 - 授業CLOSE UP
「ピアサポート制度」兵庫医科大学
「研究実習・研究研修」兵庫医科大学
 - 課外活動REPORT
「被災者支援ボランティア活動」兵庫医科大学
「豪・アデレード大学 留学生受け入れ」兵庫医科大学
- 21 2018年度 学校法人兵庫医科大学 事業計画・予算
- 23 第3次中期事業計画
- 24 人事情報
- 25 表彰・受賞など/助成金交付状況
募金状況
- 26 主な行事予定(5~7月)



～がんに関する相談対応が評価されて～ 「認定がん相談支援センター」に認定

兵庫医科大学病院は、2017年12月1日、国立研究開発法人 国立がん研究センターから「認定がん相談支援センター」に認定されました。

これは、同法人が全国のがん相談支援環境の充実をめざして実施している認定事業であり、がんに関する相談対応の質を担保する継続的な活動が行われているなど、所定の認定申請資格と認定要件を満たしている機関が認定されるものです。



なお、2018年1月1日時点で、全国で21施設、兵庫県内では兵庫医科大学病院を含め2施設が認定されています。



～兵庫県と4大学で～ 地域安全まちづくり活動の推進協定を締結

2017年12月20日、兵庫医療大学は、兵庫県と神戸ポートアイランド4大学(神戸学院大学、神戸女子大学・神戸女子短期大学、夙川学院短期大学、兵庫医療大学)による「地域安全まちづくり活動の推進に関する協定」を締結しました。



県庁で行われた締結式には金澤副知事と馬場学長ら4大学長が出席。今後、それぞれの人材や知識、情報などの資源を活用し、相互の協力のもと、地域安全まちづくり活動の活性化に取り組むことを誓いました。

- 協力事項**
- ・防犯活動にかかる情報の共有
 - ・小学生への防犯活動など地域における防犯活動の実践
 - ・地域の安全安心の向上にかかる普及啓発活動
 - ・その他両者が協議して必要と判断する防犯活動の実践



～卒業生と在学生の交流会を開催～ 兵庫県養成医師生の絆を構築

2018年3月10日、兵庫医科大学 教育研究棟にて「平成29年度 兵庫医科大学兵庫県養成医師制度卒業生・在学生交流会」を開催しました。

「兵庫県養成医師制度」とは、へき地医療の向上を図るため、へき地医療に従事する熱意を持つ者に対し、兵庫県が医学部生へ修学資金を貸与する制度。大学卒業後の一定期間、県内の医師不足地域の医療機関で勤務することが前提です。1972年の開学時以降、この制度を利用して兵庫医科大学に入学した卒業生・在学生ら13名が交流会に参加しました。

会の冒頭には、ささやま医療センター 片山病院長が「地域医療の時代に向けて」と題した講演を行い、地域包括ケアの重要性を参加者とともに考えました。

続いて、和気あいあいとした雰囲気の中で懇親会が行われ、卒業生がへき地での臨床経験を在学生に語り、激励しました。



地域包括ケアに関する講演



へき地の臨床について語った懇親会



11/26

兵庫医療大学 看護学研究科修士 生林 祥子さんが専門看護分野 急性・重症患者看護の専門看護師(CNS)*に認定されました。



*水準の高い看護を行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師



1/26

詩人で社会学者の水無田 気流先生を招き、「『居場所』のない男、『時間』がない女」をテーマに男女共同参画推進特別講演会を行いました。



医科大
イベント

学生たちが最先端の医学研究に陶醉 ～第13回レクチャーシップ 知の創造～

2018年1月17日、兵庫医科大学 平成記念会館で「兵庫医科大学 第13回レクチャーシップ 知の創造」(以下、レクチャーシップ)を開催しました。

レクチャーシップは、学生や教職員が最先端の医学研究に触れるため、第一線で活躍している“知の創造者”と呼ぶべき著名な研究者を学外から招いて講演を行うもので、2006年から毎年開催しています。13回目の開催となる今回は、順天堂大学 医学部 免疫学 特任教授・名誉教授の奥村 康先生をお招きし、「免疫制御の新戦略」について講演していただきました。聴講に訪れていた学生は、知的好奇心をくすぐる内容に思わず聴き入っていました。



学生をはじめ、たくさんの聴講者で埋め尽くされた講演会場



講演終了後には、学生が講師に積極的に質問する場面も

医科大
イベント

～2017年度 研究成果報告会を開催～ 研究医コースの学生が研究成果を発表

2018年1月25日、兵庫医科大学 研究医コース所属学生による「研究成果報告会」を開催しました。3・4年次生(総勢8名)が、2017年度に行った自身の研究について一人ずつプレゼンテーションを実施。参加学生は直前まで発表データを練り直し、真剣に報告を行いました。

一般的に、学部生の中に自分の研究成果を人前で発表できる機会は少なく、研究医コース所属だからこそ実現できた取り組みといっても過言ではありません。学生にとって、今後の成長につながる良い機会となりました。



研究医コースの所属学生による発表の様子

医科大
イベント

～定礎除幕や記念講演も～ 「教育研究棟 竣工記念式典、内覧会」を挙

2018年3月10日、兵庫医科大学にて「教育研究棟 竣工記念式典」を挙、新理事長による挨拶、野口学長による施設紹介、東京大学 高齢社会総合研究機構 辻 哲夫特任教授による記念講演などが行われました。また、定礎除幕式を執り行ったほか、大学関係者や卒業生は教育研究棟のさまざまな施設を実際に内覧。翌11日には保護者や関係企業の方々を対象とした内覧会を実施し、両日合わせて600名を超える方々に、次世代型教育研究施設の魅力を存分に味わっていただくことができました。



定礎除幕式



野口学長が施設概要を紹介



ツアー形式で内覧会を実施

医科大
イベント

第41回目の「卒業式」を挙 ～兵庫医科大学での学びを胸に、それぞれの夢に向かって～

2018年3月1日、「兵庫医科大学 第41回卒業式」を執り行いました。107名の卒業生は、保護者の方々や教職員に見守られるなか、野口学長から学位記を授受。続いて、創設者の森村 茂樹先生にちなんで「森村賞」や「学生会活動功労賞」の表彰が行われ、41期生の功績が称えられました。

また、卒業式後は新理事長と記念樹を植樹したり、友人と記念撮影をしたりと、卒業生にとって忘れられない1日となりました。



学位記授受



第41期生一同



理事長と記念植樹

森村賞 成績優秀者に贈る賞

藤川 亜里紗さん
6年間の努力が認められてうれしいです。勉学だけでなく、部活やアルバイトにも動んだ学生生活でした。幅広い知識と視野を持って患者さんと接することのできる医師をめざします。

山田 薫さん
森村賞を受賞できると聞いて、驚きました。兵庫医科大学は、本当に先生との距離が近いです。勉学に対する大学・教員のサポートがとても手厚かったことに感謝いたします。

学生会活動功労賞 学生会や部活動の功労を称える賞

平林 雅史さん
会長職をはじめ、1年次から行ってきた学生会活動が評価されて光栄です。初期臨床研修も引き続き兵庫医科大学病院で頑張ります。

小田 はるかさん
アーチェリー部に6年間所属し、全医体*で女子団体3連覇を果たしました。部活を頑張って良かったです!
※全日本医科学生体育大会

医療大
イベント

「平成29年度 兵庫医療大学 学位授与式」を挙 ～学部生313名、大学院生17名の旅立ち～

2018年3月15日、神戸ポートピアホテルにて兵庫医療大学学位授与式を執り行い、薬学部139名、看護学部89名、リハビリテーション学部理学療法学科42名、作業療法学科43名の計313名、および、大学院薬学研究科3名、看護学研究科6名、医療科学研究科8名の計17名が卒業しました。

馬場学長は卒業生に向け、「日々劇的な環境変化が起こっている現代社会では、『変化する能力、環境に適応する力』が必要である。知性、理性、豊かな人間性に裏付けられた『人間力』と高い専門性を持って、チームあるいは集団の中で自分に与えられた役割を誠実に果たしてほしい」と激励の言葉をかけました。

また、学位授与式に先立ち、3月5日には卒業生による記念植樹式が執り行われました。



壇上にて学位記を授受



晴れ姿の卒業生一同



成績優秀者に贈る「学長賞」受賞者(左から、岸田 綾乃さん(看護)、西口 楓さん(薬)、西脇 慧美さん(理学)、村岡 莉帆さん(作業))



記念植樹(雨天のため屋内にて)

医科大
2/5
教員FD「教育力向上セミナー」を開催。教職員、大学院生の約100名が参加し、外部講師の講演「消化器癌の癌幹細胞」に耳を傾けました。



医療大
2/23
在学生を対象に、兵庫医科大学病院・ささやま医療センターの就職説明会を実施。先輩ナースを招いて在学生と対談を行い、盛り上がりました。



大学病院
2/28
阪神電鉄と兵庫医科大学病院が連携して実施している「阪神沿線健康講座」。今回は、西宮市民会館で循環器系をテーマに開講しました。



医科大
3/3
「平成29年度 兵庫医科大学 白衣授与式」を挙、臨床実習をスタートした医学部4年次生に対して、各教授から白衣が授与されました。



大学病院 イベント

「第10回 学校法人 兵庫医科大学 連携病院の会」を開催

2018年3月16日、ホテルヒューイット甲子園において「第10回学校法人兵庫医科大学連携病院の会」を開催しました。

2017年度は127病院にご入会いただいております。当日は会員のみなさまおよび学内より50名ずつ、合計100名の方々にご出席いただきました。

会議では、各キャンパスからの現状報告や、日本血液製剤機構の谷澤 正明氏より2018年度の点数改定についてのご講演、そして、奈良県立医科大学公衆衛生学講座の今村 知明教授より、「地域医療構想・医療計画と地域包括ケアシステム—これからの病院が進む道—」と題してご講演いただきました。



奈良県立医科大学 今村教授による講演

学校法人 お知らせ

本法人初の「特定看護師」が誕生 ～チーム医療の推進をめざして～

2018年3月29日、「学校法人兵庫医科大学 医療人育成研修センター 看護師特定行為研修課程 修了式」を執り行い、1期生である3名が課程を修了して、本法人初の特定看護師が誕生しました。

3名全員が兵庫医科大学病院に勤務する看護師であり、入学から1年間、勤務と並行し、ともに支え合いながら勉学に励みました。4月以降は、手順書に従い、それぞれの所属部門で特定看護師として活動していきます。



修了した3名を囲んで

- 【特定行為】とは（一部抜粋）
- ・経口用気管チューブなどの位置の調整
 - ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
 - ・中心静脈カテーテルの抜去
 - ・直接動脈穿刺法による採血
 - ・持続点滴中の降圧剤の投与量調整 など

医療大 イベント

～「チーム医療」イベントも好評～ 高校生対象「1日体験入学」を実施

2018年3月18日、高校新2・3年生を対象に「3学部合同1日体験入学イベント」を実施しました。事前申込制で、定員を上回る応募がありましたが、抽選によって選ばれた高校生171名が参加し、兵庫医科大学の大学生活を1日模擬体験しました。



学科別の体験実習は大学生さながら

オープニングガイダンスの後、午前中は各自の志望する学科の実習を体験。午後は全学部合同の6人組で行う「チームビルディングゲーム」や、チームで地図を見ながら協力して回る「キャンパスツアー」とおして、兵庫医科大学の特徴である「チーム医療」を体感いただきました。



みんなで協力してチームビルディング

医科大 イベント

～兵庫医科大学の発展に貢献された7名の教授による退職講演～ 「平成29年度退職記念講演会」を開催

2018年3月14日・15日の2日間、2017年度末で退職される7名の教授の退職記念講演会を教育研究棟301講義室にて実施しました。当日は、教職員や学生、名誉教授等、多くの方々が出席し、講演を聴講しました。

- 【平成29年度退職記念講演会】講演者
- 足立 英昭 特命教授（数学）
 - 中西 健 主任教授（内科学 腎・透析科）
 - 佐野 統 主任教授（内科学 リウマチ・膠原病科）
 - 宮本 裕治 主任教授（外科学 心臓血管外科）
 - 服部 益治 教授（小児科学）
 - 松山 知弘 研究所教授（先端医学研究所 神経再生研究部門）
 - 小川 啓恭 主任教授（内科学 血液内科）



学生からの花束贈呈



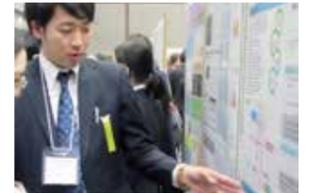
満員となった講演会場

医療大 研究・発表

～リハビリテーション学部生が活躍！～ 第95回日本生理学会で学生がポスター発表

2018年3月28日～30日にかけてサンポートホール高松で「第95回日本生理学会」が開催され、兵庫医科大学 リハビリテーション学部の石井 友梨さん、坂野 雅治さん、今北 紘陽さんがポスター発表を行いました。兵庫医科大学の学部生が本学会で発表するのは初めての快挙です。なお、当該研究は兵庫医科大学の玉木研究室と兵庫医科大学の荒田研究室の共同研究によって行われました。

- 発表演題
- ・The analysis of rat fetal movement in the ultrasonic tomography using non-anesthesia pregnant rat (超音波断層法による無麻酔胎児ラット胎動性活動の解析)
 - ・Relationship between sensory stimulation and respiration in isolated neonatal rat brainstem-spinal cord preparation (新生ラット脳幹-脊髄標本における感覚刺激と呼吸の協調関係について)



来場者に研究発表



会場前で先生と

医科大 お知らせ

～兵庫医科大学 初～ 「大学発ベンチャー」第1号を認定

兵庫医科大学は、2018年4月9日、先端医学研究所 医薬開発研究部門 山原 研一准教授と輸血・細胞治療学 相馬 俊裕前准教授らが自身の研究成果を基として設立したベンチャー企業「株式会社シーテックス」を大学発ベンチャーの第1号に認定しました。この認定により、学内でのインキュベーション室の確保や研究設備の利用等で支援を行います。

- 第1号に認定された「大学発ベンチャー企業」について
- 社名：株式会社シーテックス
 - 設立：2018年2月28日（事業開始日：2018年4月1日）
 - 資本金：100万円
 - 株主：代表取締役 相馬 俊裕、取締役 山原 研一、取締役 竹田 英樹、監査役 岡部 精一
 - 事業形態：再生医療等製品、医療機器製造業、学術研究など
 - 事業概要：兵庫医科大学の研究成果に基づく細胞治療に関し、兵庫医科大学発ベンチャー企業として兵庫医科大学病院での治験・臨床研究実施をサポートし、得られた研究成果を活用した再生医療等製品・医療機器の製造販売承認をめざす。

ささやま お知らせ

～質の高い包括的なケアの実践へ～ 「総合診療専門医」の養成を開始

ささやま医療センターは、2018年4月1日より、多様な地域の病院・診療所などで活躍でき、高い診断・治療能力を持つ「総合診療専門医」の養成を開始しました。

背景として、多くの高齢者が複数の診療科の受診を余儀なくされるものの、地理的偏在が多い地域では特に、各専門医の受診が困難である現状があります。この課題を踏まえ、健康に係る問題に適切な初期対応等を行い、総合的な診療能力を有する「総合診療専門医」が位置づけられました。

ささやま医療センターでは、6つの専門研修連携施設（右

- 【総合診療専門医】専門研修連携施設
- 兵庫医科大学病院（西宮市）、柏原赤十字病院（丹波市）、多可赤十字病院（多可郡）、篠山市立草山診療所、篠山市立東雲診療所、篠山市立今田診療所

上参照）と連携した独自の専門研修プログラムを用意し、患者さんへの質の高い包括的なケアが実践できる医師の養成をめざします。

この開始に伴って、診療科に「総合診療科」を新設したり、市民の健康、介護予防への寄与を目的とした「健診センター」や院内の複数業務を統合した「総合支援室」を設置したりするなど組織を一部変更。院内連携・地域連携をより強固なものとし、地域医療の篠山モデル（①生活モデル化 ②包括化 ③地域化）の実現が可能になりました。

大学病院 3/9

兵庫医科大学病院にて「平成29年度臨床研修修了証授与式」を執り行い、臨床研修医修了者全員に、修了証書が授与されました。

医療大 3/13

教職員対象の全学FD・SDワークショップを開催。「チーム医療教育」をテーマに、講演やグループディスカッションを行いました。

学校法人 3/28

「平成29年度 学校法人兵庫医科大学 医療人育成研修センター 認定看護師教育課程修了式」を挙行し、修了者が証書を授受しました。

医科大 4/1

自己点検・評価結果の提出、書面・実地調査を経て、公益財団法人大学基準協会より大学基準に適合していると認定されました。（認定期間：2018年4月1日～2025年3月31日）



～新入生の期待高らかに～

「兵庫医科大学 学部入学式および大学院入学式」を挙行

2018年4月4日、平成記念会館において「平成30年度兵庫医科大学 学部入学式」を挙行しました。今年、大いなる期待を胸に兵庫医科大学 医学部に入学したのは112名。式の冒頭、野口学長による式辞にて、新入生に対してお祝いの言葉が贈られました。その後、入学宣誓では、名前を呼ばれた新入生が一人ずつ緊張した面持ちで誓約書を野口学長に提出し、新入生は晴れて兵庫医科大学生としてのスタートを切りました。

また、前日の4月3日には教育研究棟において大学院医学研究科入学式が執り行われ、大学院生48名が入学しました。



新入生による入学宣誓



多数の保護者に見守られ挙行



～新入生382名を歓迎して～

「兵庫医療大学 入学式」を挙行

2018年4月5日、神戸ポートピアホテルにて「平成30年度兵庫医療大学入学式」を執り行い、薬学部165名、看護学部104名、リハビリテーション学部理学療法学科47名、作業療法学科49名の合計365名が入学しました。大学院入学式も併せて行われ、薬学研究科1名、看護学研究科6名、医療科学研究科10名がそれぞれ入学しました。

馬場学長からは「大学での学びの中で学術的専門性を極め、人間力を養ってほしい」との激励の言葉がかけられました。



入学宣誓を行う新入生代表



馬場学長による式辞



2017年度の研究成果を報告

～兵庫医療大学 先端医薬研究センター～

2018年4月18日、兵庫医療大学 M113講義室にて「2017年度(平成29年度)兵庫医療大学 先端医薬研究センター 研究報告会」を開催しました。当日報告された研究課題は右記のとおりです。

また、当日は学校法人兵庫医科大学 中医薬孔子学院の研究報告会も併催され、5名の研究者が2017年度の研究成果を報告しました。



大野助教による発表



馬淵研究員による報告

研究者	課題
兵庫医療大学 薬学部 田中 稔之 学部長・教授、上田 晴康 教授、 大野 喜也 助教 兵庫医科大学 医学部 岡村 春樹 特任教授	自然免疫シグナルによる抗腫瘍免疫 チェックポイントの制御
兵庫医療大学 薬学部 馬淵 美雪 研究員、清水 忠 講師、 田中 明人 教授	研究現況報告 ～エーザイとの共同 研究成果と次世代医薬品を目指 した研究



4/1

医師のワーク・ライフ・バランス実現を推進するため、子育て中の放射線科医を対象とする「在宅勤務制度」を導入しました。



※この写真はイメージです



4/2

「学校法人兵庫医科大学 入職式」を平成記念会館にて挙行。さまざまな職種の新入職員222名が気持ちも新たに仲間入りしました。



各種報告 〈兵庫医科大学〉

2017年度 兵庫医科大学 国家試験結果

第112回医師国家試験合格率“97.5%”で「全国3位」に！

2018年3月19日、第112回 医師国家試験の合格発表があり、**兵庫医科大学の合格率は“総合 97.5%”**で国公立大学も含めた全大学のなかで「**全国3位**」の好結果となりました。私立大学では**全国2位**です。

第112回 医師国家試験(試験日:2018年2月10日・11日)

兵庫医科大学	総合			新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
2017年度	118名	115名	97.5%	107名	104名	97.2%	11名	11名	100.0%
2016年度	103名	92名	89.3%	98名	87名	88.8%	5名	5名	100.0%
参考)全国 2017年度	10,010名	9,024名	90.1%	8,924名	8,330名	93.3%	1,086名	694名	63.9%

2017年度 兵庫医科大学卒業生 卒業後の進路

- | | | |
|--|---|---|
| 兵庫医科大学病院
JCHO大阪病院
JCHO九州病院
赤穂市民病院
赤穂中央病院
大阪市立大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院
香川県立中央病院
川崎病院
関西医科大学附属病院
九州大学病院
京都府立医科大学附属病院
京都大学医学部附属病院
京都第二赤十字病院
京都市立病院
近畿大学医学部奈良病院
近畿大学医学部附属病院 | 慶應義塾大学病院
甲南病院
神戸大学医学部附属病院
福岡県済生会福岡総合病院
滋賀医科大学医学部附属病院
順天堂大学医学部附属浦安病院
市立池田病院
市立川西病院
市立豊中病院
西脇市立西脇病院
新行橋病院
住友病院
高砂市民病院
宝塚市立病院
千船病院
筑波大学附属病院
東京医科大学病院 | 東京慈恵会医科大学附属病院
徳島大学病院
豊見城中央病院
奈良県西和医療センター
奈良県総合医療センター
日生病院
姫路医療センター
姫路聖マリア病院
兵庫県立尼崎総合医療センター
兵庫県立淡路医療センター
兵庫県立西宮病院
福井大学医学部附属病院
福岡大学病院
北海道大学病院
水戸協同病院
宮崎大学医学部附属病院
明和病院 |
|--|---|---|

2018年度 兵庫医科大学 入学試験結果 (定員112名)

〈推薦入試〉

	一般公募制	地域指定制
募集人員	約12名※	5名以内
志願者	47名	40名
受験者	47名	40名
合格者数	14名	5名

※特別選抜推薦入試を含む

〈一般入試、センター試験利用入試〉

	一般	センター前期	センター後期
募集人員	約82名	約10名	約3名
志願者	2,136名	735名	33名
受験者	1,979名	722名	33名
1次合格者数	436名	241名	20名
正規合格者数	110名	19名	3名